

京都府立京都学・歴彩館 海外若手研究員による 府民向けセミナー（開催報告）

2024年1月25日
京都府立京都学・歴彩館
075-723-4835

京都府立京都学・歴彩館では、世界とつながる京都学の研究・交流拠点をめざし、国内外からの幅広いアプローチにより京都文化の普遍的な価値を研究、発信するため、2017年度から、日本研究・京都研究の優秀な海外若手研究者を京都学研究員として招聘しています。

このたび、2023年度の京都学研究員による府民向けセミナーを下記のとおり開催しましたので報告します。

記

- 日 時 2024年1月25日（木） 13時半～15時
- 場 所 京都府立京都学・歴彩館 小ホール
- 講 師 京都学研究員 クリオ・シモネッタ、エミリー・ウォレン
- 参加者 計62名
- 発表内容
 - 発表1 クリオ・シモネッタ
「古代における国家の成立と駅制・駅馬」
 - 発表2 エミリー・ウォレン
「東寺百合文書にみる中世寺院の食文化」

■ セミナーの様子

各講師 30分程度の発表のあと、活発な質疑応答が行われ、研究者と参加者の交流を図りつつ、研究内容についての理解を深め、好評を博した。

■ 参加者コメント（抜粋）

- ・「日本の古代史は未解明な部分が多いので、その一端に触れて大変興味深かった。」
- ・「中世の寺院の様子がわかり面白かった。当時の食材も具体的に知ることができて興味深く思った。」
- ・「日本語で専門用語（古字）を読めるその知識と努力に驚かされました。」
- ・「古代の馬について、初めてこのようなことを知りました。」
- ・「「食」の役割や「食」を通して社会が見えるので大変興味深く拝聴しました。」
- ・「面白かったです。特に東寺百合文書にこんな内容があると知り驚きました。」
- ・「お二人とも資料や文献をきちんと読み込んだ研究を進めていて感服した。」
- ・「分かりやすく、史料も挙げてくださっていたので大変楽しめました。」
- ・「二人とも日本語がとても上手で、古い文献を読みこなして研究されていて感嘆しました。」
- ・「発表1は、資料もわかり易く、発表も大変良かったです。面白かった。各時代・幅広い研究良かったです。発表2では、東寺百合文書で、非常に興味深い食べ物を教えていただいた。楽しい講座でした。」
- ・「これだけ難しい深掘りした内容を流暢な日本語で説明する研究員に敬意を表します。」
- ・「海外の若手研究者に京都学研究成果を発表いただく、こうした機会はなかなか良いと思います。今後も是非参加したいです。」
- ・「また、海外の方のセミナーを開いて欲しいです。次回の発表を待っています。」

府民向けセミナーの様子



発表1 クリオ・シモネッタ氏



講演中の様子



発表2 エミリー・ウォレン氏



講演中の様子



発表1 質疑応答の様子



発表2 質疑応答の様子